



安東 みきえ／文  
吉田 尚令／絵  
アリス館  
2017年 ¥1500

## 星につたえて

唯一の生きものだった頃のクラゲと、ひとりぼっちで旅をするほうき星の、優しく切ないお話。クラゲが星に伝えたい言葉はなんだったのか、想像しながら読んで、そして一緒に読んだ人にぜひその言葉を伝えてあげてください。



あきやま ただし／作・絵  
講談社  
1999年 ¥1500

## あしなが

野良犬たちは最近来たすらしとした犬「あしなが」のうわさ話でもちきり。「かっこいいけど最低なヤツ！」ケンもうわさを信じてそう思っていたけど…。無責任なうわさに乗せられて、本当のことを見失いがちな私たちに大切なことを教えてくれる。

## 王さまライオンのケーキ はんぶんのはんぶん ぱいのぱいのおはなし

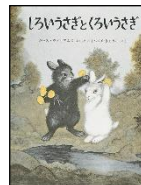
王さまライオンの食事に招かれたアリと8匹の動物たち。ケーキを「自分の分を取って回しなさい」と言われた動物たちは…。半分や倍がどのくらいの量になるかがよくわかり、算数が楽しくなると同時に思いやりについても考えさせられる絵本。



マシュー・マクリゴット／作・絵  
野口 絵美／訳  
徳間書店  
2010年 ¥1600

## しろいうさぎとくろいうさぎ

いつもいっしょにいる仲の良い二匹のうさぎ。しかし時々くろいうさぎが悲しそう顔をします。しろいうさぎが尋ねると、「ぼく、ねがいごとをしているんだよ」。くろいうさぎの願い事は叶うのでしょうか。二匹の愛が温かく染み入るお話です。



ガース・ウイリアムス／ぶんえ  
まつおか きょうこ／やく  
福音館書店  
1965年 ¥1200



平野 恵理子／作  
あすなろ書房  
2010年 ¥1200

## 和菓子の絵本 和菓子っておいしい！

日本で昔から食べられている和菓子。あんこやお餅、寒天などが使われています。和菓子の種類や歴史、作り方などが紹介されていて、「見たことがある」「食べてみたい」「こんな歴史があったのか」など、会話をしながら楽しめる絵本です。

現在購入できる版の出版年を掲載しています。  
価格は2021年2月現在の本体価格です。

掲載については出版社の許諾を待っています。  
無断で転載することを禁じます。



2021年3月発行  
大洲市立図書館



図書館司書  
おすすめ

子供とともに 本をひらこう 未来のページ  
 (「第2次大洲市子供読書活動推進計画」より)

小学校  
中学年版



# うちどく絵本リスト

毎月第3日曜日は“うちどくの日”

「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うことです。  
 「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！



●うちどくをはじめると、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によっても様々な感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。そこで、図書館司書が家族で読んでほしい絵本をおすすめします。



有田 奈央／文  
羽尻 利門／絵  
新日本出版社  
2020年 ¥1500

## 帰り道 ソツとする怪談えほん

毎日同じ道の通学・通勤。たまには普段通らない道を通ってみたいくなること、ありませんか？そうすると、思わぬ道に迷い込んで、心細くなってしまいかも。ひょっとして、その道の向こうには……。慣れない道にはご用心を。



谷口 智則／作  
アリス館  
2020年 ¥1500

## カメレオンの かきごおりや

旅するかき氷屋のカメレオンは、お客様の気分にあつた色のシロップをかけてあげます。いろいろな色に出合うたび、自分の体の色も変わるカメレオン。自分は本当は何色なんだろう？



谷口 國博／文  
高砂 淳二／写真  
世界文化ワンドークリエイト  
世界文化社  
2020年 ¥1200

## きょう まどから ふう かぜは

思うように外に出られない日は、窓を開けてみませんか。窓から吹く風は、どこからやってきたのでしょうか。長浜の海からやってきたのかも。そしてこれから地球の裏側まで旅するのもかもしれないと思うと、なんだかわくわくしませんか。



長谷川 義史／作  
講談社  
2019年 ¥1500

## おおにしせんせい

新しくやってきた担任の大西先生は、図画工作の時間にもものをよく見て描くことを教えてくれた。絵の真から出したままの色を塗るのでなく、五感をいっぱい働かせて太い絵筆で描いていくんだ。心が動くってこういうことなんだなあ。

## タコとイカはどうちがう？ いきものくらべるしゃしんえほん

ダイナミックで美しい生体写真に、イラストで描かれたタコおやじとイカヤンキーが、張り合いながらおもしろおかしく説明を加えてくれます。大人向けの本にもおとらない最新知識がギッシリなのに、楽しくわかりやすい写真絵本です。



峯水 亮／写真  
池田 菜津美／文  
杉本 親要／監修  
ポプラ社  
2020年 ¥1800

## マチルダとふたりのパパ

パールの通う学校に来た転校生の両親はお父さんが二人。どんなお父さん達なのか楽しみでなりません。会ってみると、パールのパパとママと変わらない普通の家族でした。色々な形の家族があることが自然なのだと、スッと入ってくる物語です。



メル・エリオット／さく  
三辺 律子／やく  
岩崎書店  
2019年 ¥1500



松本 春野／文・絵  
辰巳 芳子／監修  
文藝春秋  
2020年 ¥1500

## まほうのおまめ だいずのたび

日本の食卓に欠かせない大豆。どのように育ち、どのような食材に変身するのでしょうか。一緒に旅をして、大豆のことをもっと知りましょう。主に七五調で書かれた文章が心地よく、柔らかく暖かな絵も魅力です。



たかい よしかず／さく  
大日本図書  
2018年 ¥1400

## すきなことの みつけかた

「なぜ勉強しないといけないの？」誰もが一度は思う疑問。それに答えてくれています。そしてタイトルの「好きなことの見つけ方」も書いてあります。勉強することは自分の世界、可能性を広げることになるのだと思います。

## ペロのおしごと

大好きな「おかあさん」にネックレスをプレゼントするために犬のペロがお仕事を探しにでかけます。ところがうまくいかないことばかりで…。それでもあきらめないペロの姿にじんとくる一冊です。



樋勝 朋巳／作  
小学館

2018年 ¥1400

## おなじ そらの したで

動物たちがそれぞれの場所で暮らして、最後、みんなで空を見上げています。住んでいる場所は違って、みんな同じ空の下で生きています。そう思うとなんだかうれしく、なんだか愛おしくなります。



ブリッタ・テケットラップ／作・絵  
木坂 涼／訳  
ひさかたチャイルド  
2017年 ¥1500

## ぼくの きもちはね



コリ・ドーフェルド／作  
石津 ちひろ／訳  
光村教育図書  
2018年 ¥1400

## ぼくのきもちはね

一生懸命作った積み木のお城を壊されてしまったテイラー。動物たちは慰めますが、どれも響きません。最後にうさぎがやってきて…。相手の気持ちを考えること、心に寄り添うことの大切さを教えてくれるおはなしです。

## ぼくのなまえは へいたろう

自分の名前について考えたことはない？ 主人公のへいたろうは自分のよりもっといい名前があると思っていたけれど、名前に自分を合わせるのではなく、生き方で名前をカッコよくするものだ気づけて、名前と向き合うことができたよ。



灰島 かり／文  
殿内 真帆／絵  
福音館書店

2018年 ¥1200

## 地面の下をのそいでみれば…



カレン・ラッチャナ・ケニー／文  
スティーブン・ウッド／絵  
六耀社  
2017年 ¥1850

地面はいろいろな種類の土が層になってできています。見ることのできない地面の下を絵本で見てください。長い長い時間をかけてできた地面の上には立っていると考えると、ロマンを感じます。

## 白い花びら

ゆうたは林の中で不思議な少女と出会います。二人で遊んでいたのに、気が付くと少女はいません。後日、最初に少女が立っていた所で、桜の木が花を咲かせていました。少女は何者だったのか、ゆうたの見た夢だったのか、想像が膨らむ絵本です。



やえがし なおこ／文  
佐竹 美保／絵  
岩崎書店  
2017年 ¥1600